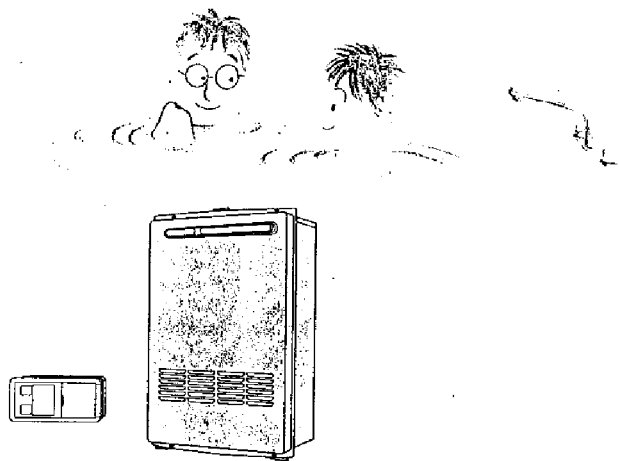


ガス給湯暖房機能取扱説明書

型 式 名	機 能	設置方式
AT-245RA-AW2Q	2温度タイプ	屋外式
AT-245RA-AQ	1温度タイプ	
AT-245FA-AW2Q	2温度タイプ	屋内式
AT-245FA-AQ	1温度タイプ	

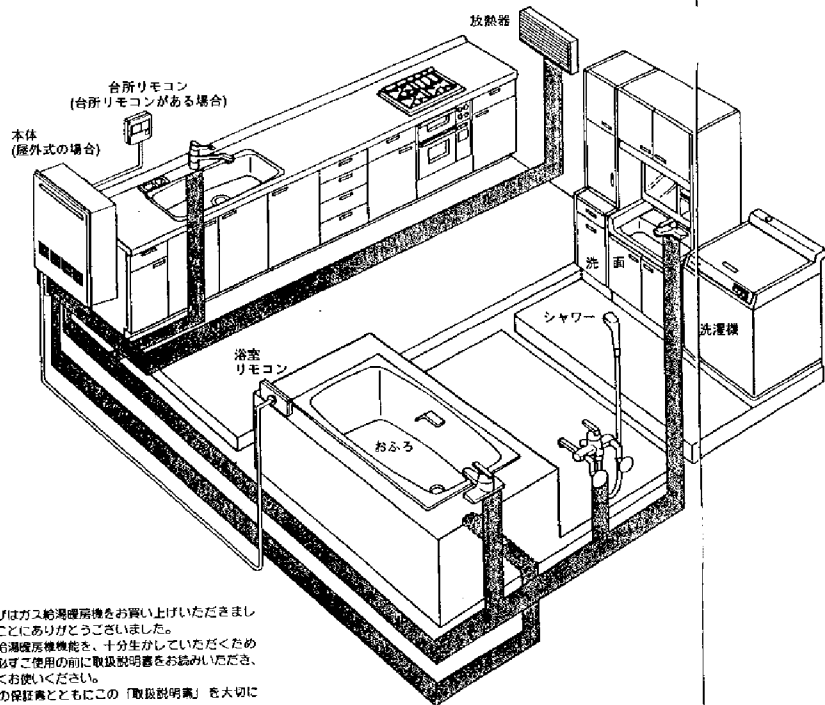


KGH9501LHHA1
Y0595-0

給湯・ふろ・暖房が同時に使える

独立運転!

- 適温・適量のお湯はりが完了すると自動消火するふろ自動運転。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快速暖房。
- 暖房水が少なくなると自動で足す自動補給機能付。
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします。



このたびはガス給湯暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
 ● ガス給湯暖房機機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
 ● 別添の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

必ずご確認ください

- 必ずお守りください..... 4

必ず
ご確認ください

使いかた

- 入浴健康メモ..... 11
- 早見表..... 12
- 初めてお使いになるとき..... 14
- お湯の出しかた..... 16
- お湯はりのしかた..... 18
- お風呂の湯かけ手順..... 20
- シャワーの使いかた..... 21
- 暖房のしかた..... 22
- 日常の点検とお手入れ..... 23

すぐ
使いたいとき

必要なときにお読みください




- 故障かな?..... 25
- 凍結予防について..... 29
- 各部のなまえ..... 33
- 仕様..... 36
- メモ欄..... 38
- アフターサービスについて..... 39

もし
必要なとき




安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

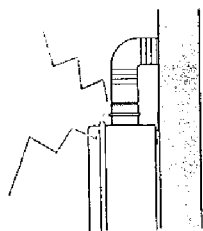
■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない(給排気筒使用の場合)

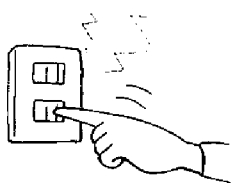


燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができなため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



火気禁止



引火し、爆発・火災の原因となります。

危険

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、お買い上げの販売店へ連絡する



ガス栓を閉める



窓や戸を全開にする
(屋内式の場合)



お買い上げの販売店または
ガス会社に連絡する



そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■屋内に設置しない(屋外式の場合)



燃焼排ガスが室内に流入したり、正常な給排気ができなため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

警告

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、リモコンのスイッチを「切」にする



リモコンのスイッチ
を「切」にする



旅行など、長時間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう(→29.30.31ページ参照)

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■入浴時、シャワー使用時はまず手で湯温を確認する



やけど注意



確認を怠ると、やけどの原因となります。

■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する



正常に熱源機が設置されないで火災や熱源機故障の原因となります。

必ず
ご読ください

安全上のご注意 必ずお守りください

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する

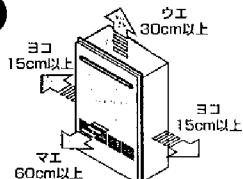
(例)AT-245RA-AQの場合



製造年月(例:〇年×月製)を示します。

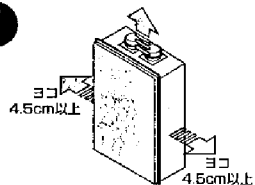
他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

■燃えやすいものとは離す(屋外式の場合)



上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■燃えやすいものとは離す(屋内式の場合)



上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

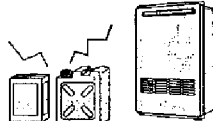
警告

■スプレー缶を給排気口(トップ)の前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない



火災の原因となります。

■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



高温に設定されると熱湯によるやけどの原因となります。

■給排気口(トップ)をおおわない

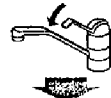


火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う



給湯栓を閉める



リモコンおよび放熱器のスイッチを「切」にする



給水元栓・ガス栓を閉める

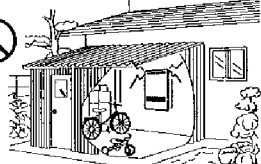


お買い上げの販売店またはガス会社に連絡する



そのままにしておくとう火災の原因となります。

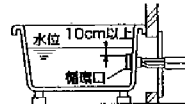
■増改築などにより屋内状態にしない(液排などにより雨をしない)(屋外式の場合)



十分な給排気ができなため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

注意

■追いつきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する



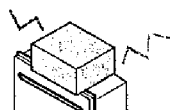
空だきによる火災や、熱源機故障の原因となります。

■使用中や消火直後は、排気口(トップ)付近に触れない



やけどの原因となります。

■熱源機の上に乗ったり、物を乗せたりしない



やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

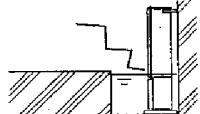
必ず
お守りください

安全上のご注意

必ずお守りください

注意

- 排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない（据置設置の場合）



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。販売店にご相談ください。

- 点検・お手入れは時は、次の手順に従う



給水元栓・ガス栓を開める



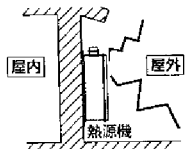
電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする



熱源機が冷えてから行う
(23・24ページ参照)

やけどや熱源機故障の原因となります。

- 屋外に設置しない（屋内式の場合）



炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り、機器故障の原因となります。

- 電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実に行なう（電源プラグがある場合）



コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。

- 電源プラグはぬれた手で触らない（電源プラグがある場合）



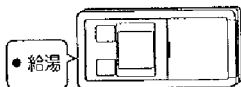
感電の原因となります。

- 熱源機内に長時間たまっていた水は飲まない、調理に使わない



健康を損なう恐れがあります。

- 点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示の点灯・消灯を確かめる



熱源機の異常を早期に見えなくなります。

- アース接続されていることを確認する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

- 床暖房の上に電気カーベットを敷かない



床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

- お客様ご自身で修理・分解をしない（フロントカバーを外さない）

不備が生じた場合、火災や感電・機器故障の原因となります。

- カーベット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない



温水パイプが破損し、温水が噴き出します。

- パネルヒーターの表面は触らない（パネルヒーター使用の場合）



やけどの原因となります。

- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間すわったり寝そべったりしない



低温やけどの原因となります。

- 給湯・シャワー・お湯はり・給湯暖房用として使用する

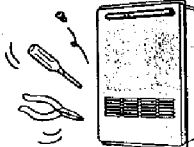
他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

お願い

- 熱源機、リモコンの改造はしない



分解禁止



熱源機故障の原因となります。

- 混合水栓を使用の場合、ときどき水だけを流す

給水側の水が長い間流れないと、一瞬にごった湯（赤水など）が出る場合があります。

- 混合水栓を使用の場合、出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水栓）を選ぶ

熱源機作動不良の原因となります。

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んで熱源機に影響のないものを使用する

健浴剤・洗剤などによっては、熱源機故障の原因となるものがあります。

- この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しない

熱源機故障の原因となります。

- 使用後はリモコンの各スイッチを「切」にする

凍結し給湯管が破裂した場合や、子供がいたずらしたときお湯が出続ける場合があります。

必ず
ご確認ください

安全上のご注意

必ずお守りください

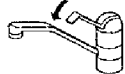
お願い

■雷時は電源プラグを抜くまたはブレーカーを「切」にする

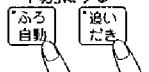


雷が落ちた場合熱源機故障の原因となります。

■断水のときは、給湯栓を閉め、リモコンのスイッチを「切」にする
給湯栓を閉める



リモコンのスイッチを「切」にする



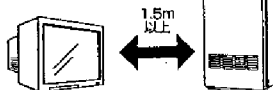
そのままにしておくと熱源機故障の原因となります。

■浴そう内の循環口はタオルなどでふさがない



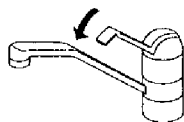
やけどや熱源機故障の原因となります。

■テレビやラジオとは離す



上記の距離を保たないと雑音の原因となります。

■停電のときは、給湯栓を閉める



燃焼が停止し、水になります。

■夏期などぬるめのお湯がでないときは湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度より高くなる場合があります。

■台所リモコンは直射日光、水しぶき、蒸気のかからない場所で使用、設置する

水しぶきなどがかかると台所リモコン故障の原因となります。

■ソーラー（太陽熱温水）システムに接続できません

給水側に高温水が流れると、熱源機故障の原因となります。

■燃焼中、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを「切」にして消火しない

熱源機故障の原因となります。

■水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

熱源機作動不良の原因となります。

入浴健康メモ

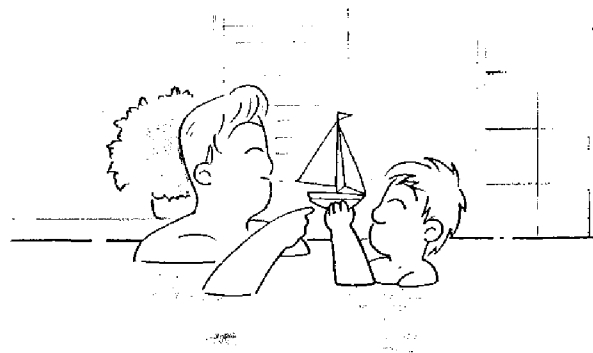
体の疲れをとる入浴のしかた！

●43～44℃のお湯に入る。

疲労の原因は体内に疲労物質（乳酸）がたまるため。そこで43～44℃の高め温度だと、血行がグンとよくなるので乳酸が早く体外に出てゆきます。

●つかる時間は10分前後で。

熱い湯に10分間つかると、血液中の乳酸濃度が低くなり、お風呂から出て1時間ほどで疲労以前のレベルに戻ります。10分がきつい人は、短い時間で何回か入るとよいでしょう。



すぐ使いたいとき

ストレスをとる入浴のしかた！

●39～41℃のぬるいお湯に入る。

ぬるめのお湯は、緊張の原因、交感神経の活動をしずめ、リラックスを与えてくれる副交感神経の活動を優位にしてくれます。

●つかる時間は15～20分ほどで。

ぬるいお湯は、体への効果がゆっくりなため、長い入浴時間が必要です。ゆっくりつかっていると心臓への負担も少なく、血圧が下がってイライラが解消されてゆきます。

早見表

お湯を出す

スイッチひとつの簡単操作。湯温の設定も手軽にできます。(P21参照)

お湯はり

お好みの湯温・湯量をお湯はりできます。(P18~19参照)

※台所リモコンでもお湯はりできます。

お湯を熱く

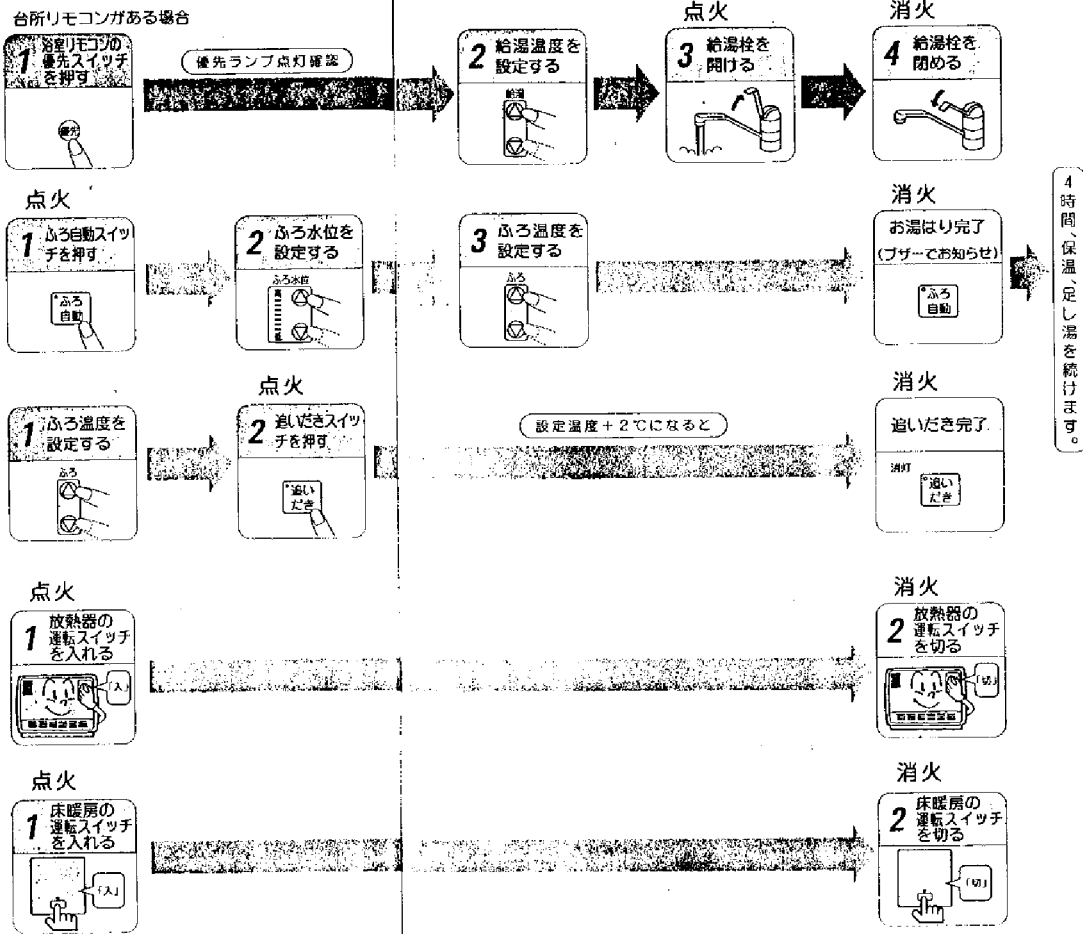
お湯がぬるくなったらすぐに使えます。(P20参照)

暖房 (放熱器使用)

お部屋の温度に応じた温水利用で快適暖房ができます。(P22参照)

暖房 (床暖房使用)

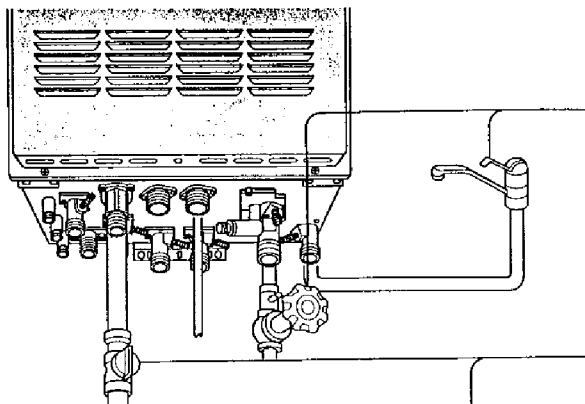
お部屋の温度に応じた温水利用で快適暖房ができます。(P22参照)



すぐ
使いたいとき

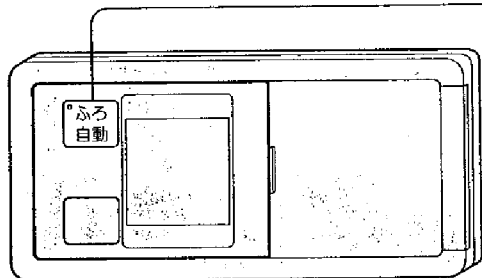
初めてお使いになるとき

本体



屋内の分電盤(ブレーカ)

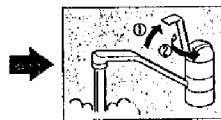
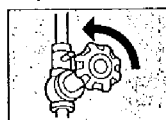
浴室リモコン



※優先スイッチ・ランプがないリモコンもあります。

※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合で説明してあります。

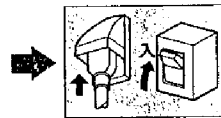
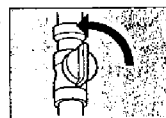
1 ■ 水の出ることを確かめる



給水元栓
給湯栓を開ける

①開けて水を出し、
②閉める。

2 ■ ガスの開栓と通電を確かめる



ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
またはブレーカを「入」
にする

3 ■ お風呂の湯が出ることを確かめる



「風呂自動」スイッチ
を押す

①浴そうに湯の出ることを確かめ、
②再度「風呂自動」を押し、
湯を止める。



●消費電力節約のため、使用後は30分で画面表示が消えます。
再度、給湯栓「開」またはリモコンのスイッチ操作で表示します。
また表示が消えても設定した温度、水位は記憶しています。

すぐ
使いたいとき

お湯の出しかた (台所・洗面所)

◆台所リモコンがない場合



1 給湯栓を開ける

2 混合水栓で湯温調節をする

3 給湯栓を閉める

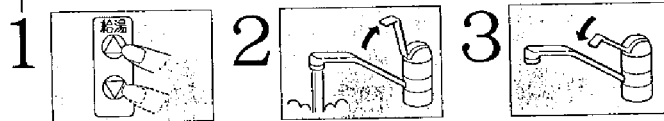
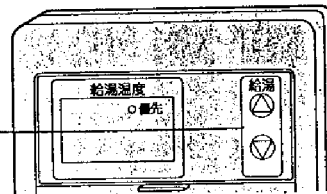


- 混合水栓での温度調節は→浴室リモコンで設定した温度までの範囲となります。
- 温度を設定したい場合 →浴室リモコンで設定してください。
- お湯はり中、給湯すると→おふろと同じ温度の湯がでます。

※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合で説明してあります。

◆台所リモコンがある場合

(台所リモコン)

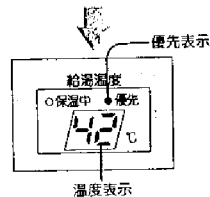


1 優先ランプ点灯を確認し、(下記参照)温度を設定する

- お湯の温度は約36~47℃の間と約60℃で設定できます。

2 給湯栓を開ける

3 給湯栓を閉める



■ 2回目以降は

→前回と同じ温度の湯が出ます。

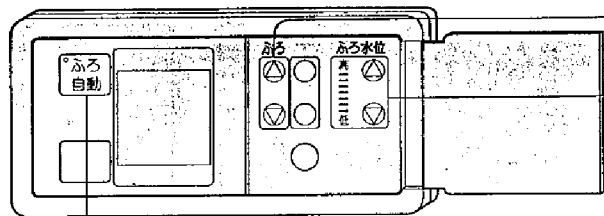
優先について(台所リモコンがある場合)

台所リモコンの優先ランプが点灯していないと、給湯温度を設定できません。

- 優先表示が消えているときは→浴室リモコンの優先スイッチを押す。
- 優先スイッチは→押すごとに優先ランプ点灯が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

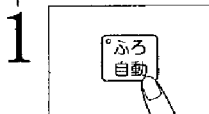
すぐ
使いたいとき

お湯はりのしかた



浴室リモコン

準備：①おふろの排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをしてお
いてください。



1 押す

- ランプ点灯。
- お湯はりが終わると自動的に消火し、プザーとお知らせします。

■ 途中で消火するとき、
止めるとき
→再度押す。
(ふろ自動ランプと燃焼ランプが消灯。)

■ 沸かし直し (浴そうに残り湯があるとき)

→同じ手順で設定した水位・温度に沸きあげます。

■ 台所リモコンでもお湯はりできます (台所リモコンがある場合)

→台所リモコンの「ふろ自動」を押す。(浴室リモコンに表示の水位・温度になります。)



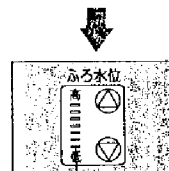
- お湯はり中は→リモコンの優先表示は消えています。
- お湯はり中は→水や空気を吸う音が出ることがあります。異常ではありません。
- 沸し浴そうのとき→水位を高くするとあふれることがあります。浴そうの形により、水位は多少変わります。



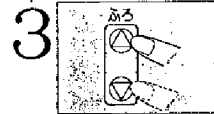
2

水位を設定する

- 浴槽口から高さ約14～約40 cmの間で設定できます。



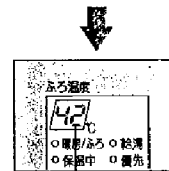
水位表示



3

温度を設定する

- 約35℃～50℃の間で設定できます。



温度表示

■ お湯はり完了すると →その後4時間保温と足し湯を続けます。

■ 保温中は →湯温検知を10分毎にポンプで循環して行います。

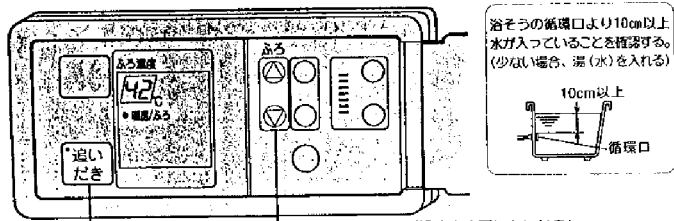


- 給湯とお湯はり、同時使用の場合
→給湯温度はお湯はりの温度と同じになります。
- 給湯使用中にふろ自動スイッチを「入」にすると
→お湯はりは待機します。

すく
ぬいれどき

お風呂の湯かげん調節

お風呂のお湯を熱くしたいとき

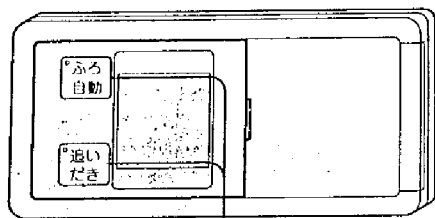


(温度を変更したいとき)

- 1 温度を設定する
- 2 押す (ランプ点灯)
→設定温度より2℃高くなる
自動的に消火します。

■途中で消火したいとき
→もう一度押す。

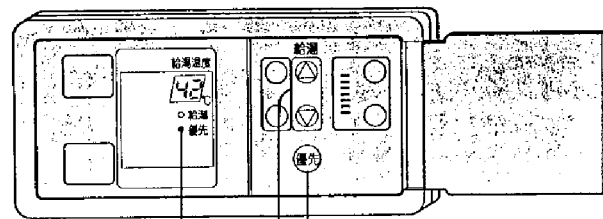
お風呂のお湯をぬるくしたいとき



- 1 ランプ消灯を確認する

- 2 浴そらの給水栓を開け水でぬるくする

シャワーの使いかた



優先ランプ
(台所リモコンがある場合)

(台所リモコンがある場合)

- 1 押す (優先ランプ点灯)
- 2 温度を設定する

優先について(台所リモコンのある場合)

優先ランプが点灯している方のリモコンのみ、給湯温度を設定できます。

- 優先ランプが消えているときは
→浴室リモコンの優先スイッチを押す。
- 優先スイッチは
→押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

- 3 給湯栓を開ける



すぐ
ぬるいとき

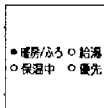
暖房のしかた

放熱器を使用の場合

●放熱器の操作は、それぞれの説明書に従ってください。

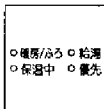
1 放熱器の 運転スイッチを入れる

- リモコンの暖房／ふる燃焼ランプが点灯。



2 放熱器の 運転スイッチを切る

- リモコンの暖房／ふる燃焼ランプが消灯。



床暖房を使用の場合 (2温度タイプのみ)

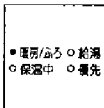
●床暖房リモコンの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

1 床暖房リモコンの 運転スイッチを入れる

- リモコンの暖房／ふる燃焼ランプが点灯。



床暖房リモコン

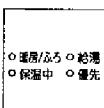


2 床暖房リモコンの 運転スイッチを切る

- リモコンの暖房／ふる燃焼ランプが消灯。



床暖房リモコン



日常の点検とお手入れ

「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を閉め、電源プラグを抜いて(ブレーカを「切」にして) 熱源機が冷えてから行なってください。(定期的に行なってください。)

お手入れの方法

本体

布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。

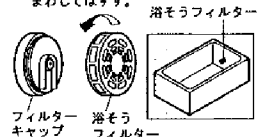


浴そうフィルター

ゴミや湯あかなどをそのままにしておく目詰まりを起こし、熱源機の異常の原因となります。

1 浴そうフィルターをはずす

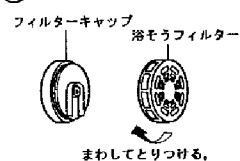
まわしてはずす。



2 歯ブラシなどで洗う



3 もとのように取り付ける



まわしてとりつける。

リモコン

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。

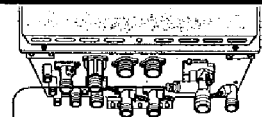


すぐ
使いいき

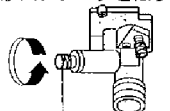
日常の点検とお手入れ

お手入れの方法

給水側水ストレーナ

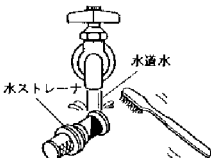


1 給水接続口にある水ストレーナをはずす

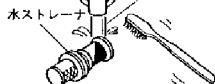


水ストレーナ 給水接続口

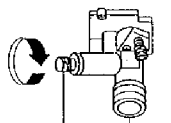
2 歯ブラシなどで洗う



水道水



3 もこのように取り付ける



水ストレーナ 給水接続口

点検の方法

- 熱源機の異常音は？
- 外観に異常は見られませんか？
- 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？



定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまつたりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が炭をはることがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快感、臭い、目にしみるなど）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。



故障かな！？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

症状

ご確認ください

運転（燃焼）しない



お湯があつくならない

低温の湯が出ない

リモコンの優先ランプが点灯しない
(台所リモコンがある場合)

リモコンの表示が消える

- 電源プラグがしっかり差し込まれていませんか。ブレーカが「入」になっていますか。
- ガス栓が全開になっていますか。
- 給水元栓が全開になっていますか。
- 断水していませんか。
- 凍結していませんか。(※32ページ)
- 停電していませんか。
- ガス配管に空気が残っていませんか。→ 点火操作をくり返す。
- 水ストレーナが詰まっていますか。(※24ページ)
- ガスメータに異常はありませんか。(マイコンメータをお使いの場合マイコンメータのランプが点滅していませんか)

- ガス栓が全開になっていますか。
- 湯と水の量(混合水栓)の調節は適切ですか。

- 給水元栓が全開になっていますか。
- 水ストレーナが詰まっていませんか。(※24ページ)

- 浴室リモコンの優先スイッチを押し、優先ランプの点灯を確認する。(※17・21ページ)

- 給湯・お湯はり・追いだし終了後30分以上過ぎていませんか。(※15ページ)

もし
必要なとき

故障かな！？

● 次のような場合は故障ではありません。

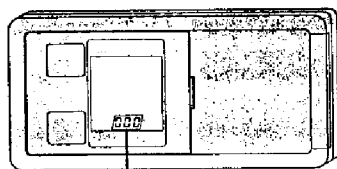
現象	理由
寒い日に排気口から湯気がでる	排気ガスの水分が水蒸気になるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするための約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
長時間、給湯を使っていると火が消える	給湯を30分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯栓を急に閉めるとゴツンと音がすることがある	水が急に止まるために発生する音で異常ではありません。
お湯はり中に浴そうの循環口から空気が出て、「ポコポコ」と音がする	お湯はり中のお湯の流れにより空気を吸い込んでいるためです。
暖房運転中、暖房/ふろ燃焼ランプがついたり消えたりする	お部屋の温度に応じて暖房/ふろ燃焼ランプがついたり消えたりします。
冬期、暖房を使っていないのに熱源機が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、一定温度以下に外気温が下がると熱源機が自動的に燃焼します。異常ではありません。

異常時には安全装置が働きます

■給湯バーナーの炎が消えた場合	給湯立消え安全装置
■暖房(ふろ)バーナーの炎が消えた場合	暖房立消え安全装置
■暖房回路の水が万一極端に減った場合	空だき防止装置(暖房)
■空だきした場合	空だき安全装置(給湯・暖房)
■熱源機の温度が異常に上昇した場合	過熱防止装置
■電気回路に漏電が発生した場合	漏電安全装置
■過電流が流れた場合	電流ヒューズ
■熱源機内の水圧が異常に上昇した場合	過圧防止安全装置

上記の安全装置が働いた場合

リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ連絡してください。



エラーコード表示

エラーコードについて
不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。

下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。それでも同じ表示が出る場合、電源を切らないで、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したため。	追いだしスイッチまたはふろ自動スイッチを押しなおしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたため。	
113	暖房側およびふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、追いだしスイッチ(またはふろ自動スイッチ)を押しなおしてください。(暖房の放熱器を使用している場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。)
723	暖房側およびふろ側の回路に異常がおきたため。	
412	お湯はり中に断水したため。	再湯水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
632	追いだし時浴そうの循環口より約10cm以上水が、入っていないため。	浴そうの循環口より約10cm以上水または湯を入れ、追いだしスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。
	お湯はり時、おふろの浴そうの栓をしっかりと閉めていないため。	ふろ自動スイッチを「切」にし、浴そうの栓をしっかりと閉め、再度「入」にしてください。
543	暖房用タンクに水が入っていない状態で、暖房・お湯はり・追いだし運転をしたため。	すべての水抜き栓が「閉」・補給水バルブが「閉」(※33ページ)になっていることを確認し、電源を「切」にし、約30秒後再度「入」にしてください。

上記以外の表示ができる場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再操作してください。

もし
必要とき

故障かな！？

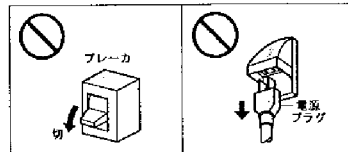
	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(※16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●給湯栓を閉じてください。 <p>〈再通水後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(※16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(※16ページ)によりご使用ください。
ふろ お湯はり	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(※16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 ●エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後18ページに従ってください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈ふろ自動スイッチを「切」にしてください。〉</p> <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(※16ページ)によりご使用ください。
ふろ 追いだし	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(※20ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通常は、正常運転します。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈追いだしスイッチを「切」にしてください。〉</p> <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(※20ページ)によりご使用ください。
暖房	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器などの運転スイッチを「切」にしてください。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(※22ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通常は、正常運転します。 ●エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は再通水後故障かな(※27ページ)により再操作をしてください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器などの運転スイッチを「切」にしてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(※22ページ)によりご使用ください。

凍結予防について

通常は自動保温します
(外気温0～-10℃で無風するとき)

給湯・ふろ側

- 運転中、停止中に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。



ブレーカは絶対に切らないでください。

電源プラグは絶対に抜かないでください。

浴そうの水を排水してください。
※配管・バルブの凍結予防はごまかせん。

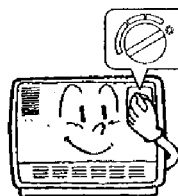
暖房側

- 外気温が0℃近くになると

自動的に凍結予防運転します。

- さらに寒さが厳しいときは

「☀」のある放熱器は運転スイッチを「☀」にする。



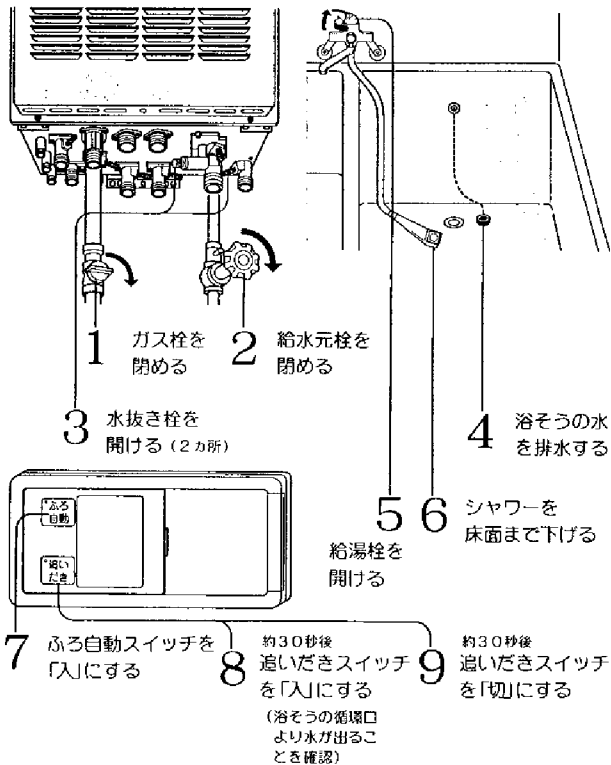
もし
必要なとき

凍結予防について

水抜きをする
(冷え込みが厳しいとき、長期不在のとき)

給湯・ふろ側

※配管・バルブの凍結予防はできません。



※エラーコードの表示が出ることがあります。異常ではありません。

水抜きをする
(旅行など、長期不在のとき)

暖房側

- 不凍液の有無を確認してください。
- 給湯・ふろ側は必ず、水抜きしてください。

〔不凍液が入っている場合〕 水抜きの必要はありません。

〔不凍液が入っていない場合〕 水抜きをしてください。

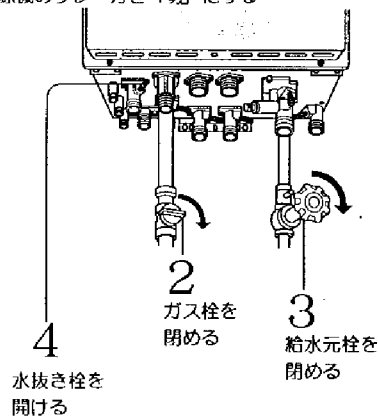
〔大阪ガスの場合は不凍液が入っています。水抜きの必要はありません。〕

※1. 放熱器や配管・バルブの凍結予防はできません。

※2. 不凍液注入の有無はフロントカバーのラベルで識別できます。

〔東京ガスの場合、不凍液が入っている時は「不凍液が入っています。」とラベルでフロントカバーの右下に明示しています。〕

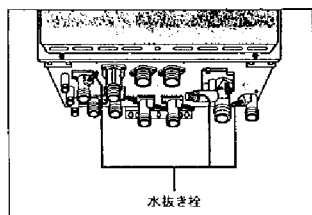
1 電源プラグを抜く または 熱源機のブレーカを「切」にする



もし
必要なとき

凍結予防について

水抜き後の再使用のとき



1 水抜き栓を閉める (3ヶ所)

※以下の手順は14ページの図でお使いになるごときに従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

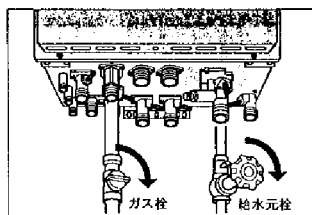
3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源を「入」にする

6 ふろ自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

凍結して水が出ないとき



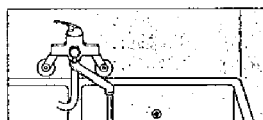
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

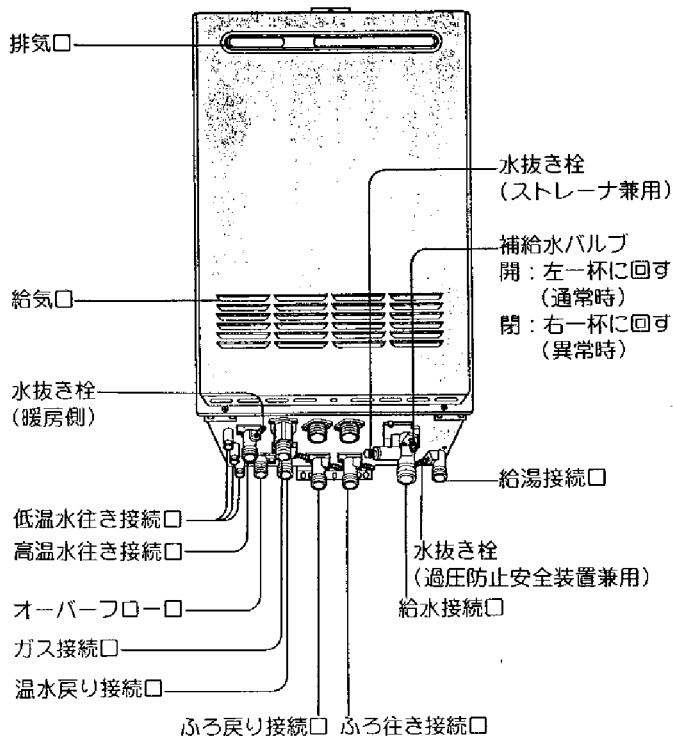
3 リモコンのスイッチを切る

4 給湯栓を開ける

5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する



各部のなまえ 本体

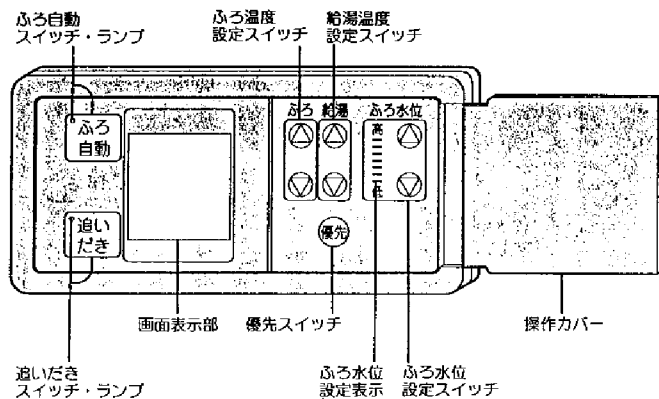


- 凍結したまま使わないでください。
- 凍結による修理は有料です。

もし
必要なとき

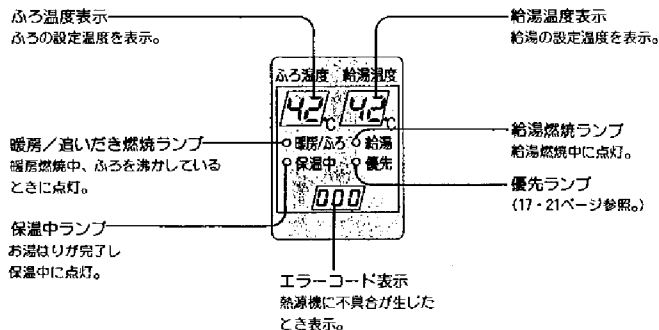
※上記イラストは2温度タイプで説明してあります。

各部のなまえ 浴室リモコン



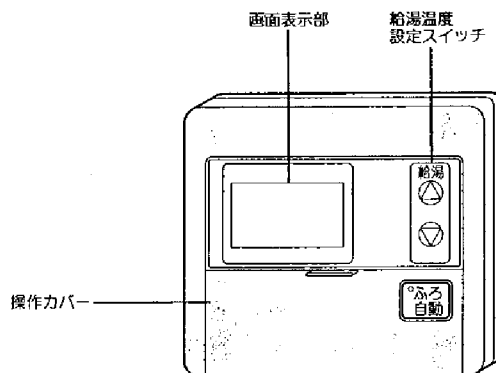
画面表示部

- 「給湯温度」「ふろ温度」の数値は目安です。
- 下記画面表示は説明のため全部表示したものです。



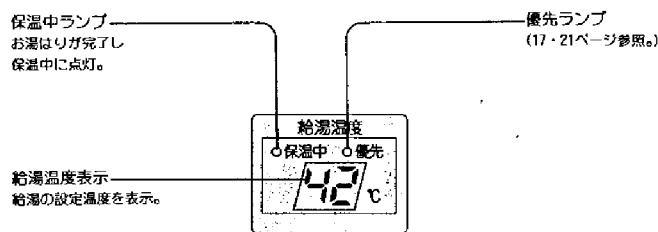
※優先スイッチ・ランプのないリモコンもあります。

台所リモコン



画面表示部

- 「給湯温度」の数値は目安です。
- 下記画面表示は説明のため全部表示したものです。



もし
必要なとき

仕様

機 種 名		ガス給湯暖房機				
型 式 名		AT 24RA-AQ	AT 24RA-AWQ	AT 24FA-AQ	AT 24FA-AWQ	
種 類	給 湯 方 式	先止め式				
	暖 房 方 式	湯水循環方式				
設 置 方 式	給 排 気 方 式	強制排気方式		強制給排気方式		
	設 置 方 式	屋外設置方式		屋内設置方式		
着火方式	給 湯 ・ 暖 房	ダイレクト着火				
外形寸法 (mm)	本 体	高さ750×幅480×奥行200				
	浴 室 リ モ コ ン	高さ86×幅198×奥行20				
	台所リモコン(ある場合)	高さ120×幅128×奥行23				
質 量 (kg)	本 体	37	38	39	40	
	浴 室 リ モ コ ン 台所リモコン(ある場合)	0.3				
水 圧 (kPa)	使 用 水 圧	100 (1 kg/cm ²)以上				
	作 動 水 圧	15 (0.15 kg/cm ²)				
最 小 作 動 水 量 (L)	給 湯	2.5 / 分				
	暖 房	0 / 分以上 (給切り使用可)				
ポンプ機外行程	給 湯	3.0 / 分				
	暖 房	41.2 / 53.9 kPa (4.2 / 5.5 mH ₂ O) : 5.0 L / 分のとき				
温 度 制 御 方 式	給 湯	39.2 kPa (4.0 mH ₂ O) : 8.0 L / 分のとき				
	暖 房	電子式ガス比例制御方式				
温度設定 (°C)	浴 室 リ モ コ ン	電子式ガス比例制御およびOFF制御方式				
	給湯シャワー	浴室温: 約36 ~ 約47 (1°C間隔) 約60				
給 湯 量 制 御 方 式	浴 室 リ モ コ ン	約36 ~ 約47 (1°C間隔) 約60				
	給湯シャワー	高温: 約80 低温: 約60 (50.55.85 °Cに切換可)				
安 全 装 置	給 湯	水量比例制御方式 (Q機能)				
	暖 房	給湯立消安全装置・暖房立消安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電線ヒューズ・過圧防止安全装置 停機時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒーター 水圧センサー・誘導扉保護装置・減圧安全装置				
消 費 電 力 (50 / 60 Hz)	給 湯	250 / 300 W (運転停止時: 約9 W) 260 / 310 W (運転停止時: 約9 W)				
	暖 房	凍結予防運転作動時: 最大240 / 260 W 凍結予防運転作動時: 最大250 / 270 W				
接 続	ガ ス	R 3/8 オネジ (20A)				
	給 水	R 3/8 オネジ (15A)				
	暖 房	高 速 往 復	G 3/4 (20A)			
		低 速 往 復	G 3/4 (20A)			
	心	R 3/8 オネジ (15A)				
	心	R 3/8 オネジ				
電 気	本 体 電 源	AC100 V 50/60 Hz 3φ (うち1φアース用)				
付 属 品	給 湯 換 気 口	浴室リモコン2φ・台所リモコン2φ				
	給 湯 換 気 口	給気口φ80、排気口φ80				
品 番	浴室リモコン (一式)・台所リモコン (一式) ※ AT 24RA-AQ AT 24RA-AWQ AT 24FA-AQ AT 24FA-AWQ					

※台所リモコンについては、付属していない機種もあります。

使用ガス 使用ガス グループ	1時間当たりのガス消費量 kW (kcal/h)				標準出力 kW (kcal/h)			
	全ガス 消費量	給湯ガス消費量		暖 房 ガス消費量	能力最大時			
		最 大	最 小		給 湯	温 室 追いだき	暖 房	
都市ガス用	13A	48.8 (42 000)	35.0 (30 100)	7.21 (6 200)	17.4 (15 000)	27.9 (24 000) (16号)	8.14 (7 000)	14.0 (12 000)
	12A	45.3 (39 000)	32.6 (28 000)	6.74 (5 800)	16.3 (14 000)	28.0 (22 400) (14.9号)	8.14 (7 000)	13.0 (11 200)
LP ガス用	49.0 (3.50 kg/h)	35.1 (2.51 kg/h)	7.23 (0.52 kg/h)	16.7 (1.19 kg/h)	27.9 (24 000) (16号)	8.14 (7 000)	14.0 (12 000)	

		都市ガス用13A・LPガス	都市ガス用12A
出湯能力 L / 分 (水圧: 100 kPa (1kg/cm ²))	水温+25°C上昇	(16.0)	(14.0)
	水温+40°C上昇	10.0	9.3

- 出湯能力の()内は、水温+25°C上昇に換算した相当出湯能力です。
- LPガス用は、AT-245RAタイプのみです。

もし
必要なとき

アフターサービスについて

保証書について

- 別添の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

サービスを依頼される前に

- まず25～28ページの「故障かな!？」を確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご氏名・ご住所・電話番号・道順(付近の目印)
 2. 品名……………ガス給湯器/暖房機
品番または機器コード…正面右上部または右下部に表示してあります。
 3. お買い上げ日
 4. 故障または異常の内容(エラーコードなどできるだけ詳しく)
 5. 訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後10年です。

転居または機器を移設される時

- ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増改築などのため熱源機を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、熱源機本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設に伴う調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にお問い合わせください。

保守契約制度

- 保守契約制度(有料)に加入いただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご相談ください。

もし
必要なとき

お客様へのご案内

この度は、大阪ガスのガス給湯暖房機をお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。

取扱説明書に記載の型式名と、大阪ガスの機器コードの対照について下表の通りご案内申し上げます。

大阪ガス機器コード		型 式 名	機 能	設置方式
浴室・台所リモコン付属	浴室リモコンのみ付属			
44-400 型	44-410 型	AT-245RA-AQ	1 温度タイプ	屋外式
44-400-R 型	44-410-R 型	AT-245RA-AQ-F		
44-401 型	44-411 型	AT-245RA-AQ-C		
44-403 型	44-413 型	AT-245RA-AQ-E		
44-404 型	44-414 型	AT-245FA-AQ		
44-405 型	44-415 型	AT-245RA-AW2Q	2 温度タイプ	屋外式
44-405-R 型	44-415-R 型	AT-245RA-AW2Q-F		
44-406 型	44-416 型	AT-245RA-AW2Q-C		
44-408 型	44-418 型	AT-245RA-AW2Q-E		
44-409 型	44-419 型	AT-245FA-AW2Q		
				屋内式

お客様からの販売店または大阪ガスへの、この機器についてのお問い合わせは、大阪ガスの機器コードをご連絡いただきますようお願いいたします。

(添付の保証書および機器本体上部または下部に、大阪ガスの機器コードを明示いたしております。)

お客様には、大阪ガスの給湯暖房システムを快適に、未永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

 大阪ガス

——— 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ———

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06(586)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町3-9-6	電話 高槻 0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0720(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸 078(360)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺薬田町1番地	電話 京都 075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒840	和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡 0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	電話 草津 0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南兵衛町3-4	電話 長浜 0749(62)7171
本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区早野町4-1-2	電話 大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社